

授業科目 (科目ID)	社会福祉  22n117	担当教員  (実務経験)	吉田 竜平  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 社会福祉士として福祉相談業務に従事し、当該科目の教育を行う		
対象年次・学期	1年・前期	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	8	時間数	16時間
授業目的	社会福祉全般の基礎的知識を習得するとともに、社会情勢の変化に伴って進められてきた福祉改革の内容など、社会福祉をめぐる近年の動向や課題について学ぶ。				
到達目標	①児童・高齢者・障害者の福祉制度や福祉サービス②医療保険・年金保険・雇用保険等の社会保障制度の意義・概要・課題等③人々の生活を支えるさまざまな職種について理解し、求められる連携について。以上を説明できるレベル。				
テキスト・参考図書等	テキスト指定はせず、毎回、レジュメを配付する				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	①修了試験70% ②リアクションペーパー30%		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	30%			
	その他	%			
履修上の留意事項	各授業回でリアクションペーパーの記載を求める。記載されている質問など、全体で共有することが好ましいものは、次回以降の授業時に取り上げる。他学生の迷惑になる為、私語は慎むこと。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	社会福祉の基礎概念	人権や権利、援助の対象と援助における価値等、社会福祉の基本的な考え方を理解する。		
	2	子ども家庭福祉	子どもの権利、子ども家庭福祉に関連する法律と制度、ひとり親家庭、女性への福祉的支援について学ぶ。		
	3	障害者福祉	障害者福祉の基本理念、障害者福祉に関連する法律と制度、権利擁護とアドボカシー(代弁機能)について学ぶ。		
	4	高齢者福祉	高齢者福祉の基本理念、高齢者福祉に関連する法律と制度、介護保険制度、地域包括ケアについて学ぶ。		
	5	公的扶助	ナショナル・ミニマムの概念、生存権、生活保護制度について学ぶ。		
	6	医療保険制度と労働保険制度	わが国の医療保険制度と雇用保険、労働者災害補償保険の概要について学ぶ。		
	7	年金制度	わが国の年金制度の概要について学ぶ。		
	8	まとめ	授業内試験実施		
	9				
	10				
	11				
	12				
	13				
	14				
15					

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	リハビリテーション実習  22n118	担当教員  (実務経験)	佐久間 愛  有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 別紙1参照		
対象年次、学期	1年、通年(集中)	必修、選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	講義、実習	授業回数(1回90分)	24	時間数	46時間
授業目的	視能訓練士として医療現場で実践できるよう技術、知識を広げる。				
到達目標	同行援護従事者養成研修一般課程および、全身性障害者移動介護従事者養成研修課程を受講の上、修了証書を取得する。				
テキスト、 参考図書等	同行援護従事者養成研修テキスト 第4版(中央法規出版)、ガイドヘルパー研修テキスト 全身性障害編 第2版(中央法規出版)				
評価方法、 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	レポート課題100%		
	レポート	100%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	①学内実習、学外実習共に動きやすい服装、靴を準備すること。②お弁当を食べる実習があるので、アレルギーがある場合は事前に担任に報告し、個別に持参すること。③実習の際はメモ帳を用意し、メモをとりながら受講すること。				
履修主題、 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	同行援護従事者養成研修課程1(田中)	視覚障がい者(児)の福祉サービス、同行援護の制度と従業者の業務		
	2	同行援護従事者養成研修課程2(田中)	同行援護の制度と従業者の業務		
	3	同行援護従事者養成研修課程3(喜田)	障がい、疾病の理解①		
	4	同行援護従事者養成研修課程4(喜田) 全身性障害者移送介護従事者研修課程1(喜田)	障がい、疾病の理解① 障がい者(児)の心理		
	5	同行援護従事者養成研修課程5(小宮)	同行援護の基礎知識		
	6	同行援護従事者養成研修課程6(小宮)	同行援護の基礎知識、情報支援と情報提供		
	7	同行援護従事者養成研修課程7(小宮)	情報支援と情報提供、代筆、代読の基礎知識		
	8	同行援護従事者養成研修課程8(小宮)	代筆、代読の基礎知識		
	9	同行援護従事者養成研修課程9(宮下 康宏)	障がい者(児)の心理①、基本技能		
	10	同行援護従事者養成研修課程10(宮下 康宏)	基本技能		
	11	同行援護従事者養成研修課程11(宮下、小宮、提嶋、佐久間)	基本技能、応用技能及び交通機関の利用、場面別技能		
	12	同行援護従事者養成研修課程12(宮下、小宮、提嶋、佐久間)	応用技能及び交通機関の利用、場面別技能		
	13	同行援護従事者養成研修課程13(宮下 康宏)	応用技能及び交通機関の利用、場面別技能		
	14	同行援護従事者養成研修課程14(宮下 康宏)	応用技能及び交通機関の利用、場面別技能		
15	全身性障害者移動介護従事者養成研修課程2(宮下 史恵)	姿勢保持について、事故防止に関する心がけと対策			

	回数	履修主題	履修内容
	16	全身性障害移動介護従業者養成研修課程3(宮下 史恵)	事故防止に関する心がけと対策、生活行為の介助
	17	全身性障害移動介護従業者養成研修課程4(宮下 史恵)	抱きかかえ方及び移乗の方法、車いすの移動介助
	18	全身性障害移動介護従業者養成研修課程5(宮下 史恵)	車いすの移動介助
	19	全身性障害移動介護従業者養成研修課程6(田中)	障害者総合支援制度とサービス
	20	全身性障害移動介護従業者養成研修課程7(田中)	障害者総合支援制度とサービス、移動介護の制度と業務
	21	全身性障害移動介護従業者養成研修課程8(高橋)	重度肢体不自由者(児)における障害の理解、コミュニケーションについて
	22	全身性障害移動介護従業者養成研修課程9(高橋)	コミュニケーションについて、介助に係わる車いす及び装具等の理解
	23	全身性障害移動介護従業者養成研修課程10(田中)	居宅介護概論
	24	全身性障害移動介護従業者養成研修課程11(田中)	居宅介護概論、居宅介護従業者の職業倫理

授業科目 (科目ID)	リハビリテーション実習  22n118	担当教員  (実務経験)	喜田 俊恵  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 看護師として看護業務に従事し、当該科目の教育を行う
対象年次・学期	1年、通年(集中)	担当教員	小宮 康生
授業形態	講義、実習	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視覚障害者福祉協会で視覚障害者の生活支援に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	高橋 綾 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 介護福祉士として介護業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	田中 賢治 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 介護福祉士として介護業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	宮下 史恵 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 福祉施設において介護業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	宮下 康宏 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 介護福祉士として視覚障害者の同行援護業務に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員 (実務経験)	提嶋 紀枝 有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員 (実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	医療安全論  22n119	担当教員  (実務経験)	山内 芳子  有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 別紙1参照		
対象年次・学期	1年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	2単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	15	時間数	30時間
授業目的	医療事故の防止と対策につながる安全管理について学ぶ。感染・消毒・心肺蘇生などの医療安全について学ぶ。眼科診療に関わる臨床検査について学ぶ。				
到達目標	医療機器の基本・安全性・レーザーについて述べることができる。安全管理に配慮した行動ができる。				
テキスト・ 参考図書等	プリント教材				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	100%	確認試験100%		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	電気の基本を学ぶことで、とかく「電気は苦手」という観念を払拭してもらいたい。そして医療機器の正しい取り扱いを学習してほしい。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	手洗い・消毒・殺菌・滅菌法(橋本)	院内感染、手指の洗浄		
	2	手洗い・消毒・殺菌・滅菌法(橋本)	医療機器の処理分類、消毒剤、オートクレーブ		
	3	身近な電気の基本(山内)	身近にある電気の正体、静電気、オームの法則、電磁気、モーター、発電、電池		
	4	医用機器1(山内)	電磁波、医用機器の安全		
	5	医用機器2(山内)	画像診断装置(超音波、MRI、X線CT)		
	6	医用機器3(山内)	生体電気計測(心電図・筋電計・脳波計・血圧・呼吸計測)1		
	7	医用機器4(山内)	生体電気計測(心電図・筋電計・脳波計・血圧・呼吸計測)2		
	8	医療機器学概論(本吉)	レーザー治療について		
	9	救急医療1(遠藤)	緊急時の患者・家族の心理 そのとき医療従事者が取るべき行動		
	10	救急医療2(遠藤)	普通救命講習Ⅱ①		
	11	救急医療3(遠藤)	普通救命講習Ⅱ②		
	12	救急医療4(遠藤)	普通救命講習Ⅱ③		
	13	看護医療(三上)	バイタルサイン		
	14	臨床検査(川村)	臨床検査と糖尿病		
15	臨床検査(川村)	臨床検査と糖尿病			

授業科目 (科目ID)	医療安全論  22n119	担当教員  (実務経験)	本吉 竜浩  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 循環器病院にて臨床工学技士として循環器疾患の治療に従事し、当該科目の教育を行う
対象年次・学期	1年・後期	担当教員	橋本 李奈
授業形態	講義	(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 歯科衛生士として衛生管理に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員	遠藤 貢
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 救急救命士として救急医療に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員	三上 剛人
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 看護師として救命医療に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員	川村 隆志
		(実務経験)	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 臨床検査技師として医療現場で臨床検査に従事し、当該科目の教育を行う
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	視能矯正学 I  22n120	担当教員  (実務経験)	佐藤 幸恵  有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 別紙1参照		
対象年次・学期	1年・後期	必修・選択区分	必修	単位数	3単位
授業形態	講義	授業回数(1回90分)	23	時間数	46時間
授業目的	視能矯正の枠組みと理論を理解し、系統的な視能矯正を構築できる能力を養う。				
到達目標	両眼視の基礎を理解し、斜視・弱視の基本知識を持つ。				
テキスト・ 参考図書等	視能学エキスパート視能訓練学 第二版(医学書院)、視能学 第3版(文光堂)				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	60%	①定期試験60% ②小テスト30% ③提出物10%		
	レポート	%			
	小テスト	30%			
	提出物	10%			
その他	%				
履修上の 留意事項	予習プリントを配布予定。締め切りを守って提出すること。講義内で単元ごとの復習小テストを行うので、集中して受講すること。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	両眼視・眼位1(佐藤)	眼位と両眼視		
	2	両眼視・眼位2(佐藤)	眼位の定義・種類・状態		
	3	両眼視・眼位3(佐藤)	両眼視の定義 ホロプター・Panums area		
	4	両眼視・眼位4(佐藤)	両眼視機能の発達、複視・網膜再現性の理論と実際		
	5	両眼視・眼位5(提嶋、佐藤)	網膜対応① 大型弱視鏡による両眼視機能		
	6	両眼視・眼位6(提嶋、佐藤)	網膜対応② 視野競争と両眼加算		
	7	両眼視・眼位7(佐藤)	網膜対応③ 両眼視機能の異常 斜視と複視		
	8	両眼視機能の異常1(佐藤)	網膜対応④ 両眼視機能の異常 抑制・混乱視・対応異常		
	9	両眼視機能の異常2(佐藤)	網膜対応⑤ 両眼視機能の異常 まとめ		
	10	両眼視機能の異常3(佐藤)	複視① プリズムの基本		
	11	両眼視機能の異常4(佐藤)	複視② 斜視とプリズム		
	12	両眼視機能の異常5(佐藤)	まとめ		
	13	斜視の基本的知識1(佐藤)	斜視総論① 斜視の定義と病因論		
	14	斜視の基本的知識2(佐藤)	斜視総論② 斜視の分類1		
15	斜視の基本的知識3(佐藤)	斜視総論③ 斜視の分類2			

	回数	履修主題	履修内容
	16	斜視の基本的知識4 (佐藤)	斜視総論④ 斜視の評価
	17	斜視の基本的知識5 (佐藤)	斜視総論⑤ 斜視の評価と治療
	18	弱視の基本的知識1 (佐久間)	弱視総論① 小児の視力発達と特性
	19	弱視の基本的知識2 (佐久間)	弱視総論② 弱視の定義と分類
	20	弱視の基本的知識3 (佐久間)	弱視総論③ 弱視の評価
	21	弱視の基本的知識4 (佐久間)	弱視総論④ 弱視の評価と治療、鑑別疾患
	22	弱視の基本的知識5 (佐久間)	弱視総論⑤ まとめ
	23	弱視斜視まとめ (佐藤)	斜視弱視まとめ





2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	生理光学実習 I  22n121		担当教員  (実務経験)	四宮 敦志  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う。別紙1参照	
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	視力・屈折検査の原理と検査方法を学ぶ。				
到達目標	生理光学の基礎知識、屈折・調節の異常について検査機器を通して理解を深める。レンズメータによるレンズの測定ができる。裸眼視力の測定ができる。				
テキスト・ 参考図書等	プリント教材、理解を深めよう 視力検査 屈折検査(金原出版)、眼科検査ガイド第3版(文光堂)、新しい眼光学の基礎(金原出版) 屈折異常とその矯正(金原出版)				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	100%	実技試験100%		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	①身だしなみを整えて実習すること。②確認試験に合格した学生が実技試験を受けることができる。実技試験の内容は視力検査・レンズメータである。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	視力検査(四宮)	視力検査測定方法、瞳孔間距離、他覚的屈折検査		
	2	視力検査実習1(四宮)	実習準備、他覚的屈折検査、裸眼視力測定 レクチャー		
	3	視力検査実習2(四宮)	実習準備、他覚的屈折検査、裸眼視力測定 実習		
	4	視力検査実習3(四宮)	球面レンズによる屈折矯正1 レクチャー		
	5	視力検査実習4(四宮)	球面レンズによる屈折矯正2 実習		
	6	光学実習1(四宮、川岸)	望遠鏡式レンズメータ、オフサルモメータ		
	7	光学実習2(四宮、川岸)	望遠鏡式レンズメータ、オフサルモメータ		
	8	光学実習3(四宮、川岸)	望遠鏡式レンズメータ、オフサルモメータ		
	9	光学実習4(四宮、川岸)	望遠鏡式レンズメータ、オフサルモメータ		
	10	光学実習5(四宮、山田)	望遠鏡式レンズメータ、オートレンズメータ		
	11	光学実習6(四宮、山田)	望遠鏡式レンズメータ、オートレンズメータ		
	12	光学実習7(四宮、山田)	望遠鏡式レンズメータ、オートレンズメータ		
	13	光学実習8(四宮、山田)	望遠鏡式レンズメータ、オートレンズメータ		
	14	視力検査実習5(四宮)	球面レンズによる屈折矯正3 総合実習		
15	視力検査実習6(四宮)	球面レンズによる屈折矯正4 総合実習			



2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	生理光学実習Ⅱ 22n122		担当教員  (実務経験)	四宮 敦志 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査業務に従事し、当該科目の教育を行う。	
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	視力検査・屈折検査を理解し、乱視表についての基礎知識を学ぶ。				
到達目標	乱視表による屈折矯正ができる。				
テキスト・参考図書等	プリント教材、視能学 第3版(文光堂)、眼科検査ガイド 第3版(文光堂)、理解を深めよう 視力検査・屈折検査(金原出版)				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	100%	実技試験100%		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の留意事項	①授業開始までに必要な機器の準備を済ませておくこと。②履修内容についての確認試験に合格した学生が実技試験を受けられる。実技試験の内容は乱視表を使用した屈折矯正である。				
履修主題・履修内容		履修主題	履修内容		
	1	屈折矯正1	乱視表による屈折矯正の実習1(検査手順)		
	2	屈折矯正2	乱視表による屈折矯正の実習2(検査手順)		
	3	屈折矯正3	乱視表による屈折矯正原理1		
	4	屈折矯正4	乱視表による屈折矯正原理2		
	5	屈折矯正5	乱視表による屈折矯正の実習3(検査手順)		
	6	屈折矯正6	乱視表による屈折矯正の実習4(検査手順)		
	7	屈折矯正7	乱視表による屈折矯正の実習5(応用・測定原理)		
	8	屈折矯正8	乱視表による屈折矯正の実習6(応用・測定原理)		
	9	屈折矯正9	乱視表による屈折矯正の実習7(応用・測定原理)		
	10	屈折矯正10	乱視表による屈折矯正の実習8(応用・測定原理)		
	11	屈折矯正11	乱視表による屈折矯正の実習9		
	12	屈折矯正12	乱視表による屈折矯正の実習10		
	13	屈折矯正13	乱視表による屈折矯正の実習11		
	14	屈折矯正14	乱視表による屈折矯正の実習12		
15	屈折矯正15	乱視表による屈折矯正原理3			

2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	視能検査実習 I  22n123		担当教員  (実務経験)	佐久間 愛  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査に従事し、当該科目の教育を行う 別紙1参照	
対象年次・学期	1年・後期		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	各種検査と眼球運動の基礎を学ぶ。				
到達目標	屈折・調節について理解し、眼位・眼球運動と関連づけて述べることができる。				
テキスト・ 参考図書等	プリント教材、視能学 第3版(文光堂)、現代の眼科学 改訂第13版(金原出版)、病気がみえる vol.12 眼科(メディックメディア) 眼科検査ガイド 第3版(文光堂)、点字セット、視能矯正マニュアル(メディカル菱出版)、視能矯正学 改訂第3版(金原出版)				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	70%	①定期試験70% ②提出物(佐久間)5% ③小テスト(川岸)5% ④小テスト(四宮)10% ⑤小テスト(佐久間)10%		
	レポート	%			
	小テスト	25%			
	提出物	5%			
その他	%				
履修上の 留意事項	学ぶ範囲が広いので、復習をすること。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	輻輳・開散・調節1(佐久間)	近見反応		
	2	輻輳・開散・調節2(佐久間、川岸、山田)	近点の測定・調節力1		
	3	輻輳・開散・調節3(佐久間、川岸、山田)	近点の測定・調節力2		
	4	涙液検査1(川岸)	涙液検査について		
	5	涙液検査2(川岸、山田)	Schirmer試験・綿糸法・涙液メニスカス・涙液層破壊時間(BUT)の実習		
	6	角膜検査1(四宮)	角膜検査について		
	7	角膜検査2(四宮)	角膜トポグラフィ・角膜内皮細胞検査の実習1		
	8	角膜検査3(四宮)	角膜トポグラフィ・角膜内皮細胞検査の実習2		
	9	眼軸長1(四宮)	眼軸長測定の基本		
	10	眼軸長2(四宮)	眼軸長測定の実際		
	11	外眼筋の作用と眼球運動1(佐久間)	外眼筋の作用		
	12	外眼筋の作用と眼球運動2(佐久間)	眼球運動の基本		
	13	外眼筋の作用と眼球運動3(佐久間)	外眼筋の作用、眼球運動の基本 復習		
	14	外眼筋の作用と眼球運動4(佐久間)	眼球模型		
15	外眼筋の作用と眼球運動5(佐久間)	まとめ			



2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	眼科学実習 I  22n124		担当教員  (実務経験)	山田正幸  有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 視能訓練士として眼科検査に従事し、当該科目の教育を行う 別紙1参照	
対象年次・学期	1年・前期		必修・選択区分	必修	単位数 1単位
授業形態	実習		授業回数(1回90分)	15	時間数 30時間
授業目的	眼科学の基礎を学ぶ。眼底検査、固視検査の基礎を学ぶ。				
到達目標	①直像鏡を用いた眼底検査、固視検査ができる。②無散瞳眼底カメラの撮影ができる。				
テキスト・ 参考図書等	プリント教材、視能学 第3版(文光堂)、現代の眼科学 改訂第13版(金原出版)、病気がみえるvol.12眼科(メディックメディア) 眼科検査ガイド 第3版(文光堂)、視能矯正学 改訂 第3版(金原出版)				
評価方法・ 評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	50%	①定期試験50% ②小テスト50%		
	レポート	%			
	小テスト	50%			
	提出物	%			
	その他	%			
履修上の 留意事項	直像鏡の実習は散瞳して検査を行う。				
履修主題・ 履修内容	回数	履修主題	履修内容		
	1	眼底検査1(佐久間)	眼底について1		
	2	眼底検査2(佐久間)	直像鏡、固視検査		
	3	眼底検査3(佐久間)	直像鏡、固視検査		
	4	眼底検査4(佐久間、山田)	直像鏡、倒像鏡、無散瞳眼底カメラ		
	5	眼底検査5(佐久間、山田)	直像鏡、倒像鏡、無散瞳眼底カメラ		
	6	眼底検査6(佐久間、山田)	眼底について2 座学		
	7	眼底検査7(佐久間、山田)	倒像鏡、無散瞳眼底カメラ		
	8	眼底検査8(佐久間、山田)	倒像鏡、無散瞳眼底カメラ		
	9	眼底検査9(佐久間、山田)	倒像鏡、無散瞳眼底カメラ		
	10	視器の機能1(佐藤)	調節、輻湊、開散		
	11	視器の機能2(佐藤)	瞳孔		
	12	視器の機能3(佐藤)	復習・問題演習		
	13	視器の機能4(四宮)	水晶体の機能と構造、白内障、屈折矯正手術		
	14	視器の機能5(山田)	黄斑部疾患とアムスラーチャート		
15	視器の機能6(四宮)	復習・問題演習			





2023年度

吉田学園医療歯科専門学校

視能訓練学科

授業科目 (科目ID)	臨地実習 I  22n125	担当教員  (実務経験)	山田 正幸  有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/> 別紙1参照		
対象年次・学期	1年・通年	必修・選択区分	必修	単位数	1単位
授業形態	実習	授業回数(1回90分)		時間数	45時間
授業目的	医療人としての広い視野・幅広い教養・高い見識をもつ。生命に対する洞察力、倫理観、生命の尊厳について深い認識をもつ。				
到達目標	①身だしなみ、挨拶、敬語等の基本的接遇・マナーを実践できる。②小児や高齢者の特性を理解しコミュニケーションが取れる。③自ら目標を立て、課題の抽出と反省ができる。				
テキスト・参考図書等	プリント教材				
評価方法・評価基準	評価方法	評価割合(%)	評価基準		
	試験	%	各実習先ごとの課題(見学レポート、日誌、感想を含めたお礼状)100%		
	レポート	%			
	小テスト	%			
	提出物	100%			
	その他	%			
履修上の留意事項	①実習要項参照、見学・体験実習には、積極的に参加すること。②各実習先ごとの実施要領に従うこと。③メモを取りながら参加すること。④医療人としての視点からレポートや感想文を作成すること。				
履修主題・履修内容	回数	履修主題	履修内容		
		札幌医科大学標本館見学(3時間)	貴重な人体標本を見学し、医療従事者としての自覚を高める。更に、医学、解剖学、病理学への理解を深める。		
		札幌あゆみの園見学(2時間)	医療・福祉・教育の複合サービスの実際を見学し、仕事に対する関心と理解を深め、心豊かな視能訓練士としての素地を養う。心身に障がいのある人との関わりについて理解を深める。		
		北海道札幌聾学校見学(2時間)	聴覚障がいをもつ子どもたちの学習の様子を参観することで、聴覚障がいのコミュニケーション手段について理解と関心を深める。		
		保育園実習(12時間)	園児の「生活」や「遊び」を通して、乳幼児の特性や保育者と乳幼児との関わり方を知る。斜視・弱視の検査および訓練の対象である乳幼児と接し、その発達段階について学ぶ。		
		眼科外来見学(5時間)	眼科施設を見学し、眼科外来の流れや視能訓練士の業務を眼で見て学ぶ。		
		盲導犬協会見学(2時間)	視能訓練士として視覚障がいの生活実態について理解を深めるため、盲導犬の育成やリハビリテーション事業について学ぶ。		
		病院見学(3時間)	眼科外来における視能訓練士および眼科医師の業務を見学することで、眼科医療の役割を学ぶ。視能訓練士に必要な資質について理解する。		
		施設見学実習(14時間)	施設の見学を通して医療人としての素養を養う。		
		円山動物園実習(2時間)	動物の眼を観察したり調べることによって眼の奥深さを知り、眼についての興味を深める。		

授業科目 (科目ID)	臨地実習 I  22n125	担当教員  (実務経験)	川岸 寿幸  有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
対象年次・学期	1年・通年	担当教員	佐久間 愛
授業形態	実習	(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		担当教員	佐藤 幸恵
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		担当教員	四宮 敦志
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		担当教員	山田 正幸
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		担当教員	山本 浩司
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input checked="" type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		担当教員	
		(実務経験)	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>